

環境保全功労者功績内容等

部 局	氏名・年齢・職業	主 要 経 歴	功 績
環境保健部	<small>おおば のりお</small> 大庭 紀雄 (64歳) 鹿児島大学医学部教授	昭和37年 7月 東京大学医学部助手 昭和47年 7月 東京大学医学部講師 昭和52年12月～現在 鹿児島大学医学部教授 昭和53年 2月～現在 鹿児島県公害被害者認定審査会 公害健康被害認定審査会委員 昭和62年 6月～平成5年 6月 臨時水俣病認定審査会委員 平成11年 6月～現在 臨時水俣病認定審査会委員	昭和53年2月から現在までの長期にわたり、鹿児島県公害被害者認定審査会・公害健康被害認定審査会委員を勤められ、水俣病対策の推進に多大な貢献をしている。また、国の臨時水俣病認定審査会においても、昭和62年6月から平成5年6月までの6年間及び平成11年6月から現在まで委員を勤め、水俣病認定業務の推進に多大な功績がある。
環境管理局	<small>おおた かつとし</small> 太田 勝敏 (59歳) 東京大学大学院工学系 研究科教授	東京大学工学部助手 東京大学工学部助教授 東京大学工学部教授 東京大学大学院工学系研究科教授 中央環境審議会特別委員 中央環境審議会臨時委員	1. 中央環境審議会の交通公害部会特別委員として「今後の自動車排ガス総合対策のあり方について(答申)」(平成12年12月)の取りまとめに尽力した。 2. 中央環境審議会の企画政策部会特別委員として「環境基本計画 - 環境の世紀への道しるべ - 」(平成12年12月)の取りまとめに尽力した。特に、企画政策部会の中に設置された「環境への負荷の少ない交通検討チーム」の主査として尽力し、環境基本計画の中の戦略プログラムの基礎の一つとなった「環境への負荷の少ない交通」報告書の取りまとめにあたった。 3. 環境庁大気保全局に設置された「低公害車大量普及方策検討会」の委員として報告書の取りまとめ(平成12年10月)に尽力した。
自然環境局	<small>こさか じょうよ</small> 小坂 丈予 (76歳) 東京工業大学名誉教授 玉川大学客員教授	昭和29年 東京大学助手 昭和36年 東京工業大学助手 昭和42年 東京工業大学助教授 昭和49年 東京工業大学教授 昭和60年 岡山大学教授 平成 2年 玉川大学客員教授 平成 3年 東京工業大学名誉教授	昭和46年の草津白根山麓の硫化水素ガス中毒事故発生以来、立山、霧島、阿蘇等国立公園内の火山における火山ガスによる事故の防止に尽力した。また、各種検討会において座長を務めるとともに各種調査に従事し、ハザードマップの作成、ガス検知警報装置の設置を推進した。 平成元年～平成2年 立山室堂地区における事故防止対策のための検討調査 平成元年～平成7年 立山地獄谷火山ガス調査 平成7年 国立公園内火山性ガス対策会議 平成9年 火山ガス災害に関する緊急研究 平成9年～平成10年 阿蘇火山安全対策専門委員会座長 平成11年～ 立山地獄谷地区安全対策検討会座長

部 局	氏名・年齢・職業	主 要 経 歴	功 績
自然環境局	<small>なかがわ しろう</small> 中川 志郎 (70歳) 茨城県自然博物館館長	昭和46年 4月～ 東京都都立上野動物園 飼育課長 昭和53年11月～昭和55年 3月 トキ保護対策検討会検討員 昭和55年 4月～昭和62年 3月 トキ増殖技術検討会座長 昭和59年12月～昭和62年 5月 東京都立多摩動物公園園長 昭和61年 6月～平成 2年 9月 動物保護審議会委員 昭和62年 6月～平成 2年 3月 東京都立恩賜上野動物園 園長 昭和63年 4月～現在 野生生物保護対策検討会 トキ保護増殖分科会検討員 平成 元年 7月～平成 9年 7月 自然環境保全審議会委員 平成 5年12月～平成 9年 7月 (財)東京動物園協会理事長 平成 6年 6月～現在 茨城県自然博物館館長 平成 8年 9月～平成12年12月 動物保護審議会委員 平成10年 6月～現在 (財)日本動物愛護協会 理事長 平成13年 2月～現在 中央環境審議会臨時委員	平成元年7月から平成9年7月までの間、自然環境審議会委員を務め、獣医及び動物園長としての知見をもとに、審議会に参画し野生生物保護行政に多大な尽力をした。特に、平成4年の「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の制定のための審議に大きな役割を果たした。さらに、希少野生動植物の種の指定、国設鳥獣保護区の設定などの審議案件については動物の分野にとどまらず幅広い分野の積極的な意見を述べ、審議運営に多大な功績があった。現在も検討会に参画し、トキの保護増殖に関して、特にトキの人工飼育下における繁殖の技術的検討等に尽力している。また、永年、動物保護審議会委員を務め、動物愛護管理行政に多大な尽力を行うとともに、平成11年改正公布された「動物の愛護及び管理に関する法律」の改正のための審議に大きな役割を果たした。現在も中央環境審議会動物愛護部会部会長代理として、動物愛護管理行政に多大な貢献を果たしている。以上の分野で環境保全行政の推進に多大な貢献をしている。